

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間： 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺自然ふれあいの森	
(2) 施設の設置目的	
里地里山の保全、農、散策、遊び、学習などの活動を通じて、里山と人との新しいかかわり方を考えるきっかけの場づくりをするため	
(3) 所管部局	
建設局 公園緑地部 公園緑地整備課	
(4) 指定管理者名	
ふれあいの森パートナーズ (株式会社生態計画研究所、特定非営利活動法人いっちんクラブ)	
(5) 指定期間	
令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 11 年 3 月 31 日 まで (5 年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 堺自然ふれあいの森管理運営業務 <ul style="list-style-type: none"> (1) 施設の管理に関する業務 園地の保全整備、建物の維持管理、保守点検、現地調査等 (2) 施設の運営に関する業務 利用者の受入れ、市民ボランティアの育成・協働、各種団体・学校への利用促進活動等 (3) 自主事業 未就学児～高校生向け体験学習、農林産物の栽培・収穫体験と販売等 	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
産業振興・基盤施設	有 (利用料金制)
(9) 開場時間	(10) 休館日
<ul style="list-style-type: none"> ・9時00分から17時30分(3月から10月) ・9時00分から16時00分(上記以外の期間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日) ・年末年始(12月29日から1月3日まで)
(11) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	

次頁以降の各管理運営状況の取組評価については、以下の評価基準により評価を行う。

評価基準	a	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
	b	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
	c	要求水準を下回る管理運営がなされている
	d	要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組評価

	指定管理者	市
市民の平等利用や日常の事故防止、当該業務において回避しなければならないリスクに対して、回避するための具体的な方策を講じているか。	a	a
防犯、事件事故及び災害の発生時又は発生に備えた対応が適切であったか。	a	a
利用者の個人情報の取扱いや情報管理体制は適切であったか。	a	b
仕様書等で定めている人員配置(障害者、高齢者等)は、適切に為されているか。	a	a
人材育成の方針や研修計画等に基づいて、職員の資質や能力の向上を図るために必要な研修を適切に実施していたか。	a	b
施設の設備、器具備品は、適切に管理していたか。また保守点検や法定点検は、適切に実施していたか。	a	b
施設の設置目的や市が定める各種計画等に則って施設の管理運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、設置目的に沿った成果を得られたか。	a	b
利用者への情報提供、広報が適切に行われているか。また効果があったか。	b	b

イ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> ・どの項目についても、適正に実施出来ている。 ・利用者への情報提供及び広報の効果については、来園者数が目標達成していないため、利用者増に繋がる効果的な広報先の選定が必要だと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的に基づき、周辺環境の変化に応じ、順応型管理を基本として、利用者が安全に利用できるよう巡回や対応を行い適切に管理運営を行っていた。 ・また、各研修に取り組み、管理運営に必要な知識や技術等の能力向上に努めていた。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ
利用者数(単位:人)	29,413	30,270	31,127
稼働率(単位:%)	-	-	-
利用者満足度(単位:%)	98.9	99.2	98.5

イ 取組評価

	指定管理者	市
利用者が利用者しやすい料金の設定や利用区分になっているか。	a	a
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	a	a
利用者からの苦情、要望への対応が適切に行われ、また、利用者の意見を施設運営やサービスに反映させる取組がなされたか。	a	a
自主事業の実施など施設の設置目的の範囲内で、サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされたか。	a	a

ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム費は50円～200円が中心で、一部無料のプログラムもあるため、市民には参加しやすい価格で実施出来ている。 ・令和6年度の一般及び参加者アンケートの満足度は、両方共98%以上と高い値である。 ・自主事業の収益の一部を森の音楽会の開催費用に充て、市民還元も行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者に興味をもってもらえるような展示の工夫や丁寧な来園者対応など利用者サービスの向上に取り組んでおり、利用者満足度は高い水準を維持している。 ・令和5年度に引き続き、南部丘陵の担い手育成の取組を実施し、南部丘陵の緑地保全の人材育成へ貢献している。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
指定管理者名		ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ
収入	指定管理料	35,924,074	36,924,074	37,926,000	37,926,000
	利用料金	0	0	23,100	1,000
	負担金	0	0	0	0
	その他	175,799	518,606	440,971	290,000
合 計		36,099,873	37,442,680	38,390,071	38,217,000
支出	人件費	22,023,925	22,546,510	22,922,845	22,279,100
	委託料	4,251,536	3,642,036	4,619,383	4,385,536
	総支出額に占める 委託料の割合	11.8%	9.7%	12.0%	11.5%
	修繕費	1,807,116	1,773,156	1,658,250	1,600,000
	光熱水費	1,229,390	884,183	964,376	1,320,000
	その他	6,783,431	8,523,055	8,208,309	8,632,364
合 計		36,095,398	37,368,940	38,373,163	38,217,000
収支差額		4,475	73,740	16,908	0
(市への納付金の額)		-	-	-	-

■ 自主事業

(有)

(単位:円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
収 入		516,763	644,062	484,850	528,100
支 出		506,164	460,682	258,290	410,000
収支差額		10,599	183,380	226,560	118,100
(市への納付金の額)		-	-	-	-

イ 取組評価

	指定管理者	市
施設の管理運営に関し、経費を縮減するための十分な取組が図られているか。	a	a
収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	a	b
当初の収支計画どおりに適切、適正に予算執行がなされているか。	a	a
経理事務は適正に行われているか。	a	a

ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね予算どおり執行できた。また、自主事業も赤字にならずに実施出来た。 ・年々物価が高騰してるため、今後は今まで以上に入金管理をしっかりする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね予算どおりの執行ができています。また、光熱費についても節電・節水の工夫を実施し、予算額を下回ることができ、経費削減につながっている。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 市が仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
有責事故発生件数	有責事故発生件数0件	有責事故発生件数0件
遠足等で来園した小学校数	30校以上	36校

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
来園者数	33,000人以上	31,184人
利用者満足度	来園者の満足度 90%以上 イベント参加者の満足度 95%	来園者の満足度 98.5% イベント参加者の満足度 98.9%

■収支

指標	目標	実績
適正な経費の支出	事業計画に基づく適正な経費の支出	事業計画に基づく適正な経費の支出

イ 実績に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> ・有責事故は発生せず、小学校の目標校数も達成することができ、経費の支出も適正にできた。一方で、来園者数が目標値を上回ることが出来なかった。 ・利用者満足度の値は高いため、今後は、周知活動に力を入れ、来園者増に繋げる必要があると考える。 	<p>来園者数は目標値に届かなかったが、令和5年度の数値を上回り、徐々に増えている。「森の音楽会」等の誰でも参加できる集客性の高いプログラムや、他施設と連携して行ったプログラムの実施が、来園者の増加につながっていると考えられる。また、他の目標は達成しており、適正な運営を行うことができている。</p>

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書で定めた目標値の内、有責事故発生件数、遠足等で来園した小学校数、利用者満足度、収支は目標を達成した。 ・来園者数は目標値を下回った。来園者の満足度は高いため、施設の取組や毎月のプログラムを広報することで、利用者増に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者数の目標値は達成できなかったが、利用者満足度は約99%である。また、その他の項目については目標達成しており適正な管理運営を実施できている。 ・南部丘陵の緑地保全の担い手育成の取組には、社会人3名、大学生9名、計12名が参加し、南部丘陵の緑地保全の人材育成に貢献している。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの